

MATSUDOING 2050

MATSUDOING2050 ～わたしがつくる!まつどのみらい～ワークショップは、「30年後の松戸駅周辺はこんな風になって欲しい」「こういうシーンが欲しい」「こんな空間はどうだろう」、こうした地域の皆さんの考えや思いをいただき、市民と市の若手職員が今後のまちづくりを共に考え、作り続けるワークショップです。

コンダクター
キーノート
横張真(東京大学教授)
宮城俊作(東京大学教授)
秋田典子(千葉大学准教授)
藤村龍至(東京藝術大学准教授)

まちづくりデザインマップについて
First Stageでの議論を踏まえ、まちづくりデザインマップ001案に統合し、Second Stageでは、公共空間・都市防災・民間事業といった視点で参加者が議論し、その成果でデザインマップを更新する試みを行いました。

令和元年
8/31
11/3
11/23
12/24
令和2年
1/18
2/29
Next Stage

WS 01
「まつど全体の将来像について考える」
レクチャー:西村幸夫氏(神戸芸術工科大学教授)
→まつどのまちの歴史的背景や現状認識(強み・弱み)、30年後を見据えた将来像



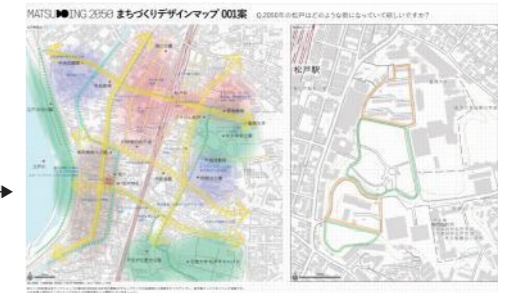
アイデアを空間に結びつけるため
模型へアクティビティをプロット

WS 02
「松戸駅周辺での過ごし方について考える」
・新しいライフスタイルについて考える」
レクチャー:秋田典子氏/清水陽子氏(科学と芸術の丘総合ディレクター)
→まちでの新しい過ごし方、実現に必要な施設や場所、サービス



統合練習案

清書



まちづくりデザインマップ001案
>第3回の各班の成果の特徴をピックアップした統合案

※ 台風19号の影響により、第2回以降を順延
WS 03
「新拠点ゾーンの空間について考える」
・新しいサービスを提供する施設への期待」
レクチャー:宮城俊作氏/内田雅敏氏(雅経営サポート事務所)
→過ごし方のまとめ、過ごし方実現に向けた取り組むべきこと

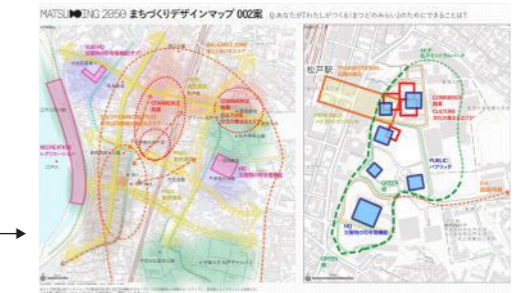
WS 04
「機能から考える」
・これからの公共空間にふさわしい機能とは」
レクチャー:柳澤要氏(千葉大学教授)/廣井悠氏(東京大学准教授)
→松戸駅周辺(公共含む)に必要な機能と必要な空間(施設等)について



WS04統合案

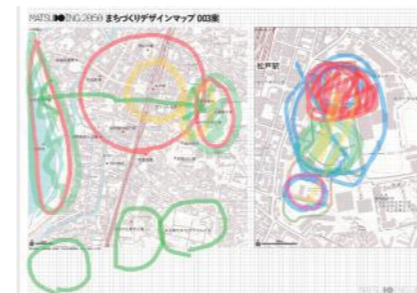


WS05まちづくりガイドマップ001案
>参加者が民間事業者の視点で、
駅周辺での新しいお店を提案

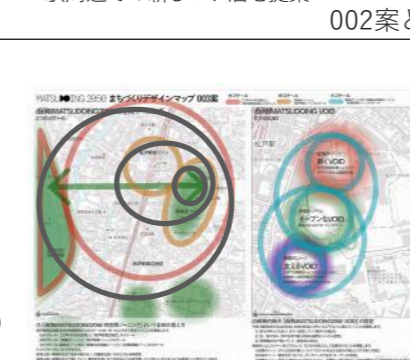


まちづくりデザインマップ002案
>001案を下地に、新しい公共機能を上書き

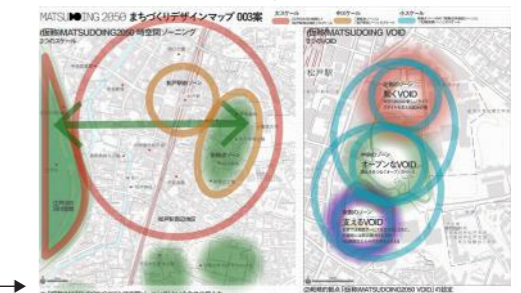
WS 05
「まちをひとから考える」
・『わたしがつくる!まつどのみらい』のためにできることは」
レクチャー:森純平氏(東京藝術大学特任助教)
→実際に活動する立場(プレイヤー)目線から考える取り組み



WS06意見募集①+専門家シャレット①



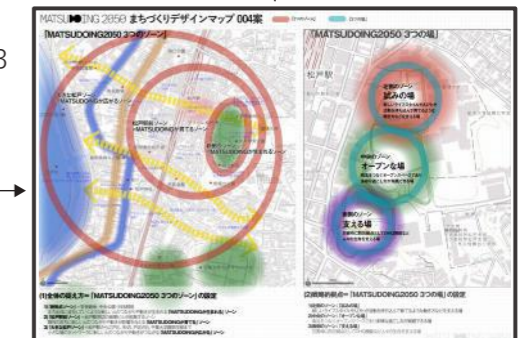
WS06意見募集②+専門家シャレット②



まちづくりデザインマップ003案
>参加者からの意見に加え、現在の社会情勢を踏まえ、
専門家からの駅周辺・新拠点ゾーンの捉え方の提案

WS 06
「もう一度、まちづくりを考える」
・『わたしがつくる!まつどの公共空間』とは」
対談:岡本真氏(アカデミック・リソース・ガイド)×藤村龍至氏
→機能、過ごし方、取り組み等をもう一度、視野を広げて考える

※ 新型コロナウイルス感染症の流行によりオンラインによる実施へ



まちづくりデザインマップ004案
>参加者の意見を踏まえ、003案をベースに表現を修正、
新拠点ゾーンから駅周辺地域への広がりを表現

Next Stage
MATSUDOING2050プロジェクト第1弾としてのワークショップは
First Stage・Second Stage(全6回)で一区切りとなりますが、
今後、ワークショップも含め様々な市民参加プロジェクトを
引き続き継続していく予定です。

活動内容は松戸市HPや公式Facebookで公表するとともに、
新たな取り組みにおいても共有させていただきます。